



■ 病院の概要

令和4年11月1日現在

医師数：24人  
 病床数：255床（一般195床）  
 外来患者数：472.9人/日（令和3年度実績）  
 入院患者数：163.7人/日（令和3年度実績）  
 待 遇：1年目550千円/月  
 2年目590千円/月

指導医数	研修医数	救急来院患者数	手術件数
8人	0人	3816件	970件
		(令和3年度実績)	(令和3年度実績)

■ 初期臨床研修プログラムの一例

研修医が医師としての第一歩を踏み出すにあたり、プライマリ・ケアを中心とした基礎的・基本的臨床能力を身につけることを目的としています。富良野圏域における地域センター病院として豊富な臨床症例を経験でき、個人の希望に応じてオーダーメイドのプログラムを作ることができるのが特徴です。

4月

3月

1年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	内科						救急 (4週まで麻酔科可)		外科	小児	産婦人科	自由選択	
2年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	自由選択			地域	精神	自由選択							

必修科目 内科、救急、麻酔科、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療  
 自由選択科目 内科(内科、循環器内科、消化器内科)、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、地域保健

■ 指導医からのメッセージ

富良野は北海道の「へそ」のまちと呼ばれ、北海道らしい自然環境が大変豊かな所です。観光地としても知られています。当院では救急医療から終末医療、新生児から老人まであらゆる分野の研修が可能です。

各診療科の壁がなく、スタッフ間そして患者さんとのコミュニケーションが取りやすい病院です。二次医療圏唯一の総合病院のため地域の様々な患者さんが集まり、指導医も熱心に教えます。『基本的な診療能力を身につける』という初期研修の理念に最適と確信しています。



副院長  
(臨床研修管理委員長)  
藤保 洋明

■ 卒後研修医からのメッセージ

令和3年度に富良野協会病院で1年間研修(たすき掛け)させて頂きました、研修医の泉谷優斗です。私はこの病院で内科・循環器内科・外科・整形外科といったメジャー科を含む大変貴重な初期研修1年目を過ごしました。研修医1年目は当時私だけで、卒後すぐに富良野協会病院で研修することに不安を抱えていましたが、終えた今では全くイメージが異なります。手技習得は上級医が1対1で手厚く指導して下さい、すぐ実践できる機会に恵まれていました。研修医の経験値としてはおそらく他病院を凌駕するほどで、むしろ1人だったのがメリットだったと感じています。また、研修医が少なかったとは言え、外部(主に関東圏)の研修医が地域研修で定期的にローテーションしてくるため、様々な交流があり大変良い刺激を受けました。



卒後 研修医  
泉谷 優斗



■ 連絡先

ADDRESS  
〒076-8765 富良野市住吉町1番30号  
 PHONE  
0167-23-2181  
 担当部署  
富良野協会病院 総務課  
 E-MAIL  
furano-hp-somu@hokushakyo.jp  
 URL  
https://ssl.hokushakyo.jp/furano-hospital/

■ 専門研修プログラム (基：基幹施設、連：連携施設)

基	連	領域	基	連	領域	基	連	領域
	●	内科			眼科			臨床検査
	●	小児科			耳鼻咽喉科			救急科
		皮膚科		●	泌尿器科			形成外科
		精神科			脳神経外科			リハビリテーション科
●		外科			放射線科		●	総合診療
●		整形外科			麻酔科			
●		産婦人科		●	病理※			

注 関連施設等の場合は、各領域名の後に「※」を付しています。